

鎌ヶ谷ブランドの専門店

来月 新鎌ヶ谷駅前にもオープン

鎌ヶ谷市産の特産品や農産物などを販売するアンテナショップ「鎌ヶ谷ブランド館」が10月1日、私鉄3

港につながっている地の利を生かして、世界に向けて鎌ヶ谷のブランド力を高めよう」と企画した。

線が乗り入れる新鎌ヶ谷駅前の複合商業施設にオープンする。地元商店主らでつ

くくる新鎌ヶ谷ふれあい街づくり協同組合（井手勝則代表理事）が「線路が成田空

谷」1階に常設する。売相場面積は約44平方メートル、食酢や中華まんじゅう、乾麺、ケチャップ、ソース、自家焙煎コーヒー豆といった地元企業のオリジナル商品のほか、梨やジャムなどの農産物や加工品も販売する。

商品には市花の「梨の花」があしらわれた認定シールを貼り、鎌ヶ谷ブランドをアピールする。地元企業や生産農家、客の反応を見ながら扱う商品も増やしていく予定だ。観光・産業情報などの提供も計画している。

市によると、新鎌ヶ谷駅の乗降客数は1日約9万3000人（2012年度）。07年度を約1万3000人上回るなど、増加傾向が続いている。

井手代表理事は「鎌ヶ谷の食の魅力を中心に取りそろえるので、ぜひ足を運んでほしい」と呼び掛けている。営業時間は午前10時（1日は11時）～午後7時。問い合わせは事務局のイデカフェ本社（047・401・6718）へ。



「鎌ヶ谷ブランド館」が入る複合商業施設「鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷」で

